

【特別講演】

ワイルドの装いと紳士服

日本女子大学名誉教授 佐々井啓

オスカー・ワイルドは、周知のように世紀末ダンディとして一世を風靡した。本論では、彼のダンディズムについて、作品や書簡での記述からワイルドの意図した装いに焦点をあてて分析する。

まず、ワイルドの写真をとりあげて彼のダンディな姿を確認し、彼の理想とするダンディな装いについての記述から、特に「流行」、「美の現代性」という言葉に注目して、装いに象徴されるダンディズムについて明らかにする。

次に、当時の一般的なイギリス紳士服の広告などを資料とし、ワイルドの装いと一般的な装いとの相違を明らかにする。

そして、当時の紳士服についてのワイルドの批判的な見解を取りあげ、彼がダンディな装いを目指してさまざまな創意工夫をしていたことを指摘する。特にワイルドがこだわった「ネクタイ」と「ボタンホール」について言及し、ワイルドの装いの独自性を検討する。